

市長選結果

金子さん大健闘 半歩及ばず

しかし、市民はLRT NO!の民意示した



宇都宮民報

—発行—
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
Tel634-8722

日本共産党発行



日刊 3497円
日曜版 823円

他賛意を示さない人が34%と報じています。
NHKの出口調査でもLRT導入計画については、反対62%、賛成が38%

問題なのは 市民説明のやり方でなく 事業の本質が市民利益と 矛盾

選挙結果を受けて、佐藤市長やLRT推進勢力は、LRT反対の道理ある賢明な判断を「正しくない情報を基に判断」と決めつけています。そして、説明のあり方再検討を打ち出しています。

市民合意ない大型公共事業 認可した国交省の責任も重大

日本共産党宇都宮市議員団は、これまで塩川てつや衆院議員等国会議員団とも連携し、また、民進・社民・市民団体・地域住民とも連携し、国交省交渉・要望活動を展開してきました。



大奮闘した金子とおる氏

LRT建設 市民合意未到達を証明

今回も報道機関による市長選挙投票の出口調査が行われました。

下野新聞出口調査では、「LRTに反対」は54%、賛成の35%を大きく上回りました。なお、佐藤市長に投票した人のうち、反対・その

業認可を行った国交省の責任も重大と言わざるを得ません。

主政治の根幹を踏みこむもので許されません。これまでの民意無視・LRTありきの拙速推進をやめ、市民合意を得るまで着工は延期すべきです。
市民への説明は、我田引水・バラ色論をふりまくのではなく、等身大のリアリズムに徹すること。
市民への情報提供・情報公開の完全保障等を求めたいと思います。

市民と野党の共同 参院選からさらに発展

今回の市長選では、金子氏推薦政党や市民団体が、それぞれに力を尽くすと同時に、金子事務所にも結集し共同の闘いを展開しました。荒川つねお・福田くみ子両市議は民進党県議・市議と共に確認団体政策カーから訴えました。

最終日の夜のJR宇都宮駅西口でのマイク納めの街頭演説会では、金子候補とともに各推薦政党や市民団体代表が一同に会し、訴えました。

日本共産党からは、横山明党宇都宮市委員長が訴えました。

市政を市民の手に取りもどし、市民が主人公の市政実現の大義のもと、「LRT中止、医療・福祉・教育の充実を」の一点で小異を捨てての市民と野党の大同団結が、参院選からさらに発展したことは確実です。

選挙結果から 今、なすべきことは

市長は「LRT計画変更ない」と強弁しています。しかし、それは民

※ 知事選結果については栃木民主新報1343号を参照ください。

お金の心配せずに学校で学べるように



「就学援助制度運用の改善を」
党市議員団が申し入れ



水越教育長（右）に申し入れる荒川つねお・福田くみ子議員

学校教育法第19条では、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」と定めています。

格差と貧困の広がり、全国では6人に1人の割合で援助を受けています。宇都宮市の援助率は、ここ数年は7%から8%前後で推移しており、およそ14人に1人。すべての子どもがお金の心配をせずに、学校教育が受けられるよう、教育長に就学援助制度の改善を求めました。

入学準備に間に合う支給を

現在宇都宮市では、年度初めに学校を通して制度の案内(就学援助についてお知らせ)を配布し、希望者は申請書を提出し、前年度の所得が確定

する6月に支給決定、4月分からさかのぼって7月からの支給となつていきます。「新入学学用品費(小学生20、470円・中学生23,550円)」は、入学準備に間に合うように、その他の項目も年度当初からの支給ができるよう改善を求めました。

表一 宇都宮市就学援助制度の支給額 (市HPより抜粋)

	《参考》平成27年度の援助内容		
	小学校	中学校	備考
学用品通学用品費	1年 11,420円 2年~ 13,650円	1年 22,320円 2年~ 24,550円	年額です。認定月日によって月割りとなります。
新入学学用品費等	1年 20,470円	1年 23,550円	4月認定の1年生に限りです。
PTA会費児童生徒会費	3,600円	6,000円	年額です。認定月日によって月割りとなります。
クラブ活動費		6,000円	年額です。認定月日及び在学期間によって月割りとなります。
校外活動費	全額(宿泊有・宿泊無 各1回分まで)		
修学旅行費	全額(1回分のみ)		
通学費	全額 通学距離等の制限があります。		
学校給食費	全額		
医療援助費	自己負担額 う歯等の学校病に限りです。「こども医療費助成制度」の利用を優先してください。		

「民生委員の関与」は申請をためらわせる原因に

宇都宮市では、申請書を学校に提出すると、民生委員が訪問、所見を記入し学校に提出することを義務付けています。

学校教育法では、2005年に民生委員の関与は削除され、すでに多く

の自治体では改善されてきました。共産党市議員団では、申請のブレーキとなっている「民生委員の関与」を早急にやめるよう改めて求めました。

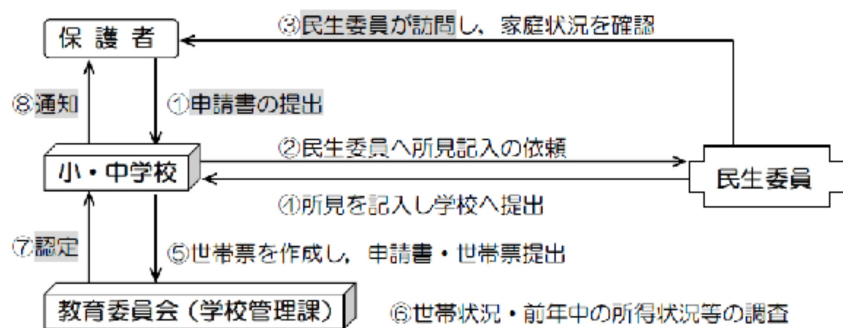


図1 認定までの流れ(市HPより抜粋)

特報!

中学入学式前に 就学援助費支給が 提案される

(12月定例市議会補正予算案で) 11月29日、12月定例市議会の議会運営委員会が開かれ、定例会の議案が示されました。その中に、市議員がかねてから求めていたものうち中学入学前に準備費を支払うため補正予算が提案されることになりました。

子どもの学ぶ権利を保障する具体策を

入学準備には、小学校では5.5万円、中学校では8万円以上もかかると言われており、「義務教育は無償」というにふさわしい国の財政保障が求められています。

全国の自治体では、現行の就学援助制度を拡充、補完する形で、様々なとりくみが実施されています。

八王子市では、準要保護児童・生徒に対し、新入学準備金として小学校20,470円、中学校23,550円を支給、函館市では年所得266万以下の世帯の第一子・二子と第三子については、すべての世帯に対し、2万円から3万円の入学準備金が支給されています。また、民生委員の意見を必須としている中核市は本市以外にありません。

就学援助制度は、子どもの学ぶ権利を保障する大切な制度です。必要な世帯が必要な時にもれなく支給できるように、自治体としての姿勢が問われています。

(福田くみ子 談話)

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 12月10日(土) 午後2時~4時

◇会場 市総合コミセン2階会議室

◇連絡 日中 TEL632-2622 (特議員団室)

土・日・夜間 TEL634-8722 (特委員会)

※1月の相談会も残っています。

相談ご希望の方までできる限り事前ご連絡をお願いします。

秘密厳守します。弁護士が協力します。